

# 大安寺報

第51号



曹洞宗 圓祥山大安寺  
住職：長岡 俊應  
副住職：長岡 俊成  
〒039-4401  
青森県むつ市大畑町  
本町 80 番地  
Tel 0175-34-2926  
Fax 0175-34-6426  
E-mail info@daianji.jp  
http://www.daianji.jp

## 名句・名言に学ぶ

ステイヴン・ラバージ (神経生理学者)

自分はずつつと落ちていく雪のよう  
なもので、最後に海にポチャんとけ  
て自分がなくなってしまう。そして、  
最後に自分は海だったと思ひ出す。

私たち人間は、地球上の生物の中で唯一  
「死」という概念を持つ存在です。古くネア  
ンデルタール人埋葬の遺跡からは、彼らの化  
石とともに、花の花粉が発掘されており、埋  
葬の際に花が手向けられたと考えられていま  
す。このことからわかるように、自らの死  
について思い、身近な存在の死を悼み、追慕  
する行為は古くから営まれてきました。

また、人間は、死で終わらない物語を「宗教」  
を営むことでつむいできました。キリスト教、  
ユダヤ教、イスラム教は死後の世界観をつく  
りあげ、また、死後の救済を説きました。仏  
教もまた同様です。お釈迦さまは直接死後の  
世界について言及なさいませんでした。イ

ンドに古代からあった「輪廻」(死後の生ま  
れ変わり)を否定せず、そこからの解脱を目  
指しました。後代の仏教僧は、「西方極楽浄土」  
(阿弥陀如来が主宰)、「東方琉璃光浄土」(薬  
師如来が主宰)の存在を説き、人々にそこへ  
の往生を勧めました。私たち曹洞宗もまた、  
葬儀において亡くなった方に仏さまの戒をお  
授けして仏弟子とし、引導作法を行って、お  
釈迦さまがおわす仏国土(みほとけの世界)  
にお渡しし、死後の安寧を祈っています。

このようなお話をしますと、「お正月から  
縁起が悪い」と思われるかもしれません。  
しかし、一休禅師が「門松は冥途の旅の一里  
塚めでたくもありめでたくもなし」と詠ん  
だように、心あらたに自身の人生に向き合う  
「正月」に、あらためて世の無常を見つめ、日々  
の生き方を省みることは、なにより貴重な時  
間になるのではないのでしょうか？

確かに、「死」は私たちの日常を断絶し、  
また、大切な方との関係をも断絶する、大変  
不条理なものであり、できるならば避けたい  
ものです。しかし、果たして全ての関係を断  
絶する、ただ不条理で、非情なものと言い切

れるのでしょうか？

人間はそもそも、全てが関わり合っ  
て生じて滅する「縁起」の世界に、様々  
な条件の関わりの中で「いのちの根源」  
から生じ、成長し、老い、病をかかえ、  
死ぬことを定めとする存在です。仏教、  
とりわけ曹洞宗をはじめとする禅宗で  
は、その「いのちの根源」を「仏国土」  
と呼び、そこに帰るのが私たち仏教徒  
の死後のあり方とするのです。その証  
として、新たに亡くなった方の御位牌  
に「新帰元」と揮毫しています。

無論、この死後の世界観は、誰かに  
強制されるものでもなく、本来自身で  
選びとるものです。死後を「無」とと  
らえるのも、その方の生き方でしょう。  
しかし、死後の自身を全て委ねること  
ができる「死で終わらない物語」を持  
つことで、死を受容し、乗り越えるこ  
とができるのではないのでしょうか？

かくいう私自身にとっても、死は恐  
怖であり、忌避したいものです。しかし、  
冒頭のことばに登場する「海」を「い  
のちの根源」仏国土」ととらえること  
により、「死」いのちの循環」ととらえ  
ることができました。雪の結晶のよう  
に、自身の人生をキラキラと輝かせて  
人を喜ばせ、死を厭わず、悠然として  
その時を迎えたいものです。(副住職)

## 行事予告

「第五回大畑まちゼミ」に参加します。

「大畑まちゼミの会」(会長：越後林達也)  
主催の「第五回大畑まちゼミ」が平成三  
十一年二月十一日(月)～三月十七日(日)  
まで開催されます。

大安寺では「心やすらぐイス坐禅体験  
」気軽にできる坐禅入門&行茶体験、「禅  
語・端坐とお茶席体験」禅にふれ、お点前・  
いただき方を学ぶ(大安寺茶友会の皆さ  
んとのコラボ講座)、「レッツ！お寺の  
ミュージック」サクソフオンとお寺の  
楽器で合奏しよう！(スーパーエチゴヤ  
さんとのコラボ講座)の三講座で参加し  
ます。その他、むつ市大畑地区を会場に  
多彩な講座が予定されています。詳細に  
ついては、一月下旬に「広報むつ」に折  
り込まれるパンフレットをご覧ください。



まちゼミ

## 大畑まちゼミ

一周忌	平成三十年
三回忌	平成二十九年
七回忌	平成二十五年
十三回忌	平成十九年
十七回忌	平成十五年
二十三回忌	平成九年
二十七回忌	平成五年
三十三回忌	昭和六十二年
三十七回忌	昭和五十八年
四十三回忌	昭和五十二年
四十七回忌	昭和四十八年
五十回忌	昭和四十五年
百回忌	大正九年

## 平成三十一年 年回表(法事早見表)

〔当寺の法事の際にご用意いただくもの〕  
①御位牌  
※仮位牌は、忌明け(三十五日もしくは四十九日)法要後に、本位牌(当寺での揮毫をご希望の方は、事前にお届けください)と交換いたします。  
②本堂にお供えする御供物(あげもの)少々(菓子・果物など)  
※可能であれば前日までにお届けください。当日になる場合は、法事開始十分前までに御持参ください。  
③御布施・塔婆料  
☆引き続き墓参をされる場合は、線香・ろうそく・供物・花・洗米(あられ)なども御持参ください。

## ご案内

曹洞宗テレホン法話  
曹洞宗宗務庁運営  
0120-508-740  
携帯の方は 03-3454-5410  
※12月25日～31日  
「掃除・作務のススメ」(副住職担当)

曹洞宗テレホン法話  
「心の電話」  
曹洞宗東北管区教化センター運営  
022-218-4444



## 各種講座のご案内(平成三十一年一月～三月)

- ◆「月例写経会」(予約不要)  
日時：一月二十日(日)、二月二十四日(日)、三月二十四日(日) 午後一時～三時  
内容：ミニ法話と写経法座(茶話会 参加自由) 場所：中広間 参加費：五百円 ※椅子席あり。
- ◆「黄昏坐禅会」(予約不要)  
日時：一月十二日(土)、二月九日(土)、午後三時半～五時 ※坐禅指導希望の方は午後三時集合  
内容：禅語紹介と坐禅法座(茶話会 参加自由) 場所：中広間 参加費：無料 備考：椅子坐禅可能 服装：動きやすい服装で。(スカート・ジーンズ不可)
- ◆「写仏喫茶」(予約不要)  
日時：三月十七日(日)午後三時～五時  
内容：説明と写仏と喫茶タイム  
場所：中広間 参加費：三百円(飲み物代含む)  
※仏さまのお姿が描かれた見本を筆ペンでなぞり書きします。  
※写仏終了後は、別室で思い思いに飲み物をいただきながら、仏さまや仏教について語ります。

## 行事カレンダー(平成三十一年一月～三月)

- 一月一日(元旦)午前0時、
- 「元朝大般若祈祷」(本堂)・「除夜の鐘」(鐘楼堂)
- 三月十五日(金)午前十一時～「涅槃会法要」(本堂)
- 三月二十一日(春分の日)午前十一時、
- 「春季彼岸会法要」(本堂)
- ※同日午後二時より、永代供養墓苑合同供養祭を行います。

## 編集後記

年末恒例の「今年の漢字」は「災」でした。北海道や大阪の地震や、西日本の豪雨などを通じての教訓を踏まえ、来年こそは「災い転じて福となす」年としたいものです。(副住職)

次号のご案内 平成三十一年三月中旬に発行予定です。

大安寺の宗旨：曹洞宗 両本山：福井県 永平寺・神奈川県 總持寺 高祖：道元禅師 太祖：瑩山禅師  
ご本尊：釈迦牟尼仏 本尊唱名：南無釈迦牟尼仏 (なむしゃかむにぶつ)